

《取材のご案内》

＜大谷大学博物館 2026年度特別展＞

【国宝金印・幻の朱印 / 国難に祈りで抗った大蔵経】

一見難解な“文字”が語る、東アジアの歴史ドラマ

2026年度特別展『摺る・捺す・写す—文字の諸相—』

メディア向け説明会&内覧会 開催

【特別展 開催期間】 2026年10月10日（土）～11月28日（土）

【日時】 2026年10月9日（金） 10:30～12:00（10:10～ 報道受付開始）

【場所】 大谷大学 京都/本部キャンパス 響流館（こうりかん） 3Fマルチメディア演習室

【参加フォーム】 〆切：10月8日（木）18:00

【参加フォーム】 <https://forms.gle/JzDBiXyr2nk8j1HbA>

大谷大学（所在：京都市北区 学長：木越 康）は、2026年10月10日（土）より、特別展『摺（す）る・捺（お）す・写す—文字の諸相—』を開催します。

特別展の開催に先駆け、10月9日（金）にメディア向け説明会および内覧会を開催いたします。

本展は、東アジアの漢字文化圏における「文字」の表現技法を、「摺る（印刷）」「捺す（印章）」「写す（拓本・写経）」という3つの視点から紐解く特別展です。一見すると難解で馴染みの薄い経典や拓本ですが、その背後には時々の社会情勢や、人びとの信仰のあり方、為政者の政治的意図などがありました。

同じ内容の資料でも並べてみると異なる個性や成立の経緯が見えてきます。一つひとつの作品の背景にある歴史のストーリーを鮮やかに浮かび上がらせます。



化度寺故僧曇禅师舍利塔銘
（宋拓）



駝鈕銅印「漢匈奴惡適尸逐王」印影



上：駝鈕銅印「漢匈奴惡適尸逐王」
下：馬鈕銅印「騎督之印」

＜ 実施概要 ＞

- 日 時 2026年10月9日（金） 10:30～12:00（10:10～ 報道受付開始）
- 会 場 大谷大学 京都/本部キャンパス 響流館3F マルチメディア演習室（〒603-8143 京都市北区小山上総町）
- 登壇者 川端 泰幸（文学部歴史学科 教授）
- 内 容 主催挨拶／メディア向け説明会／内覧会／個別取材
※当日は大谷大学 川端 教授への個別取材が可能です。
個別に取材いただける場合は、参加フォームにご記入ください。

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】

大谷大学PR事務局（(株)アンティル内 担当：伊与田・梅谷・藤井）

TEL：06-6225-7781 FAX：06-6225-7782 MAIL：otani_pr@vectorinc.co.jp

Phase 1 | 「摺る」

武力ではなく“祈り”による防衛—モンゴル襲来と高麗版大蔵經に込められた信仰

13世紀、蒙古軍（モンゴル軍）の圧倒的な侵攻という国難に直面した高麗（朝鮮半島）の第23代国王高宗は、強大な軍勢力を擁する蒙古の侵攻に対し、国家事業として「大蔵經の開板（再雕）」を発願しました。武力ではなく、大蔵經を制作・刊行し、仏教の力を頼ることが、国家の命運を託す最後の拠り所だったのです。

展示される「高麗版大蔵經」の精緻な木版文字からは、極限状態の中で国を護ろうと抗った人々の切実な祈りと、仏教への信仰心が浮かび上がります。



普曜經 卷第一（東禪寺版）

【注目展示】 No.1 | 普曜經 卷第一(東禪寺版)、No.6 | 阿毘曇毘婆沙論 卷第十五(高麗版)

Phase 2 | 「捺す」

あの「国宝の金印」を実際に捺した印影と、2.5cmの銅印が語る国際秩序

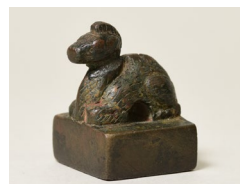
歴史の教科書でおなじみの**国宝の金印「漢委奴国王」**。

本展では、その国宝指定の審査に携わった東洋学者・内藤湖南が、実際の金印に直接朱肉をつけて紙に捺した貴重な「**原鈐本（内藤湖南鈐印）**」を特別公開します。

また、本展覧会の見どころの一つともいえる「中国古印コレクション」では、印上部の「つまみ（鈕）」にも注目します。例えば、北方の遊牧民族には「駱駝（らくだ）」の形をした駝鈕を授けるなど、相手の居住地域や身分に応じた細かな外交規定がありました。わずか2.5cm四方の極小の意匠から、中国の皇帝たちが築き上げた緻密な国際秩序を読み解きます。



漢委奴国王印原鈐本



駝鈕銅印「漢匈奴惡適尸逐王」

【注目展示】 No.11 | 駝鈕銅印「漢匈奴惡適尸逐王」、No.17 | 馬鈕銅印「帰趙候印」
No.20 | 漢委奴国王印原鈐本(内藤湖南鈐印) ※内藤湖南が12通ほど鈐印（押印）したうちの1通で貴重な資料です。

Phase 3 | 「写す」

失われた石碑・翻刻碑・原碑、それぞれの拓本の競演と、甦った文化財の公開

「写す（拓本）」のセクションでは、大谷大学所蔵の**重要文化財「化度寺故僧邕禪師舍利塔銘（宋拓）」**と、三井記念美術館所蔵の化度寺碑（宋拓）を並置する本格的な比較ができる展示を行います。

同じ碑文の宋代の拓本でありながら、それぞれ異なる翻刻碑から採拓された「三井本」と、「大谷大学本」。同じ文字でありながら、線の鋭さや摩滅の跡が大きく異なり、歴史の痕跡を目で確かめることができます。

さらに、（公財）住友財団の助成を受け、2年間の本格的な修理事業が完了した鎌倉時代の高僧・凝然の自筆「華嚴十重唯識瑞鑑記（巻第一）」も、修復後大谷大学博物館にて初公開いたします。



化度寺故僧邕禪師舍利塔銘拓本（宋拓）

【注目展示】 No.27 | 化度寺故僧邕禪師舍利塔銘（宋拓） ※指定文化財、No.28 | 化度寺碑(宋拓)
No.30 | 信行禪師興教碑(宋拓) ※指定文化財、No.44 | 華嚴十重唯識瑞鑑記 巻第一

< 取材対象者 >

■川端 泰幸（大谷大学 文学部歴史学科 教授・大谷大学博物館学芸員）



1976年和歌山県生まれ。大谷大学大学院文学研究科博士後期課程（仏教文化専攻）単位取得満期退学。博士（文学）。大谷大学助手を経て、2010年に大谷大学文学部歴史学科着任。

専門は日本中世史。本願寺教団史。

【著書・論文】

『日本中世の地域社会と一揆－公と宗教の中世共同体』（法蔵館、2007年）
「本願寺大坂退去の意義」（『大谷学報』第94巻第2号、2015年）
「『石山』合戦後の本願寺・一向一揆と信長の関係は？」（『本能寺の変と明智光秀』洋泉社、2016年）
「本願寺と鉄炮」（草野顕之編『本願寺教団と中近世社会』法蔵館、2020年）

< 会場アクセス >

【会場情報】

大谷大学 京都／本部キャンパス 響流館3F マルチメディア演習室

※開始10分前までにはご来場ください。

10:30～ 内覧会にあたり取材メディア向け説明会

11:10～ 1F博物館 展示スペースへ移動、展示品撮影会

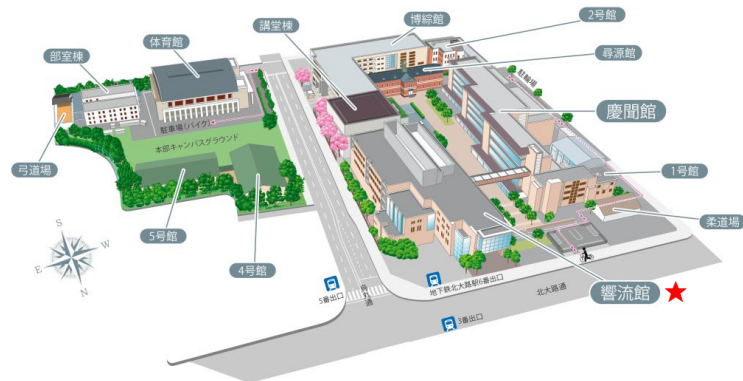
【アクセス方法】

京都市営地下鉄烏丸線「北大路」駅上 6番出口左すぐ

JR京都駅から乗車時間約13分

【会場場所】

響流館3F メディア演習室まで直接ご来場ください。（下記図★）



会場
(響流館3階)

< 留意事項 >

< ご参加に関するお願い >

※関係者の映り込みに関しては個別に許可を取っていただきますようお願いいたします。

< 取材留意事項 >

※他媒体への転用はご遠慮ください。ご取材はこちらから事前にご案内をお送りした媒体に限らせていただきます。

※本イベントで撮影された映像・写真は本イベントの報道を目的とした使用に限らせていただきます。

※スチールエリアに関しましては、先着順にご案内いたします。

※ムービーエリアに関しましては、TV局／通信社（いずれもENG）を優先・先着でご案内させていただきます。

※メディアブリーフィングは本番10分前を予定しております。（状況によっては変動する場合がございます。）

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】

大谷大学PR事務局（(株)アンティル内 担当：伊与田・梅谷・藤井）

TEL：06-6225-7781 FAX：06-6225-7782 MAIL：otani_pr@vectorinc.co.jp

< 出陳作品リスト >

『摺る・捺す・写す—文字の諸相—』 全44点 ※◎は重要文化財

No.	作品名	時代	所蔵
1章 摺る—經典の文字			
1	普曜經 卷第一（東禅寺版）	中国・北宋時代 元豐8年（1085）	大谷大学博物館
2	仏説仏名經 卷第十二（開元寺版）	中国・北宋時代 宣和7年（1125）	大谷大学博物館
3	法苑珠林 卷第九十四（思溪版）	中国・南宋時代（12世紀）	大谷大学博物館
4	戒因縁經 卷第一（磧砂版）	中国・元時代 大德10年（1306）	大谷大学博物館
5	大般若波羅蜜多經 卷第四百七十二（普寧寺版）	中国・元時代 至元16年（1279）	大谷大学博物館
6	阿毘曇毘婆沙論 卷第十五（高麗版）	高麗王朝時代（13世紀）	大谷大学博物館
7	成唯識論 卷第一（春日版）	鎌倉時代（12世紀）	大谷大学博物館
8	即身成仏義（高野版）	室町時代 永祿5年（1562）	大谷大学博物館
9	大乘造像功德經 卷上（天海版）	江戸時代（17世紀）	大谷大学博物館
10	六菩薩亦当誦持經（宗存版）	江戸時代（17世紀）	大谷大学博物館
2章 捺す—印章と印影			
11	駝鈕銅印「漢匈奴惡適尸逐王」	中国・後漢時代（1～2世紀）	大谷大学博物館
12	馬鈕鍍金銅印「騎督之印」	中国・後漢～三国時代（1～3世紀）	大谷大学博物館
13	駝鈕銅印「漢歸義胡長」	中国・後漢時代（1～2世紀）	大谷大学博物館
14	熊鈕銅印「魏率善胡仟長」	中国・三国時代（3世紀）	大谷大学博物館
15	駝鈕銅印「魏鮮卑率善仟長」	中国・三国時代（3世紀）	大谷大学博物館
16	駝鈕銅印「晋烏丸歸義侯」	中国・東晋時代（4世紀）	大谷大学博物館
17	馬鈕銅印「歸趙侯印」	中国・東晋時代（4世紀）	大谷大学博物館
18	龜鈕鍍金銅印「関内候印」	中国・後漢～三国時代（1～3世紀）	大谷大学博物館
19	龜鈕鍍金銅印「関中候印」	中国・東晋時代（4～5世紀）	大谷大学博物館
20	漢委奴国王印原鈐本（内藤湖南鈐印）	昭和時代 昭和6年（1931）	大谷大学図書館
21	鹿鈕銅印「念仏長者」（伝天海僧正所用）	江戸時代（17世紀）	大谷大学博物館
22	集古印譜	中国・清時代（18世紀）	大谷大学図書館
23	燕申堂集印	大正時代 大正7年（1918）	大谷大学図書館
24	水月斎印譜	明治時代 明治11年（1878）	大谷大学図書館
25	梅華堂印賞	大正時代 大正13年（1924）	大谷大学図書館
26	本願寺列祖印譜	昭和時代（20世紀）	大谷大学図書館

< 出陳作品リスト >

『摺る・捺す・写す—文字の諸相—』 全44点 ※◎は重要文化財

No.	作品名	時代	所蔵
3章 写す—拓本と写経			
27	◎化度寺故僧邕禪師舍利塔銘（宋拓）	原碑：中国・唐時代 貞觀5年（631）	大谷大学博物館
28	化度寺碑（宋拓）	原碑：中国・唐時代 貞觀5年（631）	三井記念美術館
29	翁覃溪手摹化度寺碑底本	中国・清時代 同治13年（1874）	大谷大学博物館
30	◎信行禪師興教碑（宋拓）	原碑：中国・唐時代 神龍2年（706）	大谷大学博物館
31	大唐三蔵聖教序（宋拓）	原碑：中国・唐時代 咸亨元年（670）	大谷大学博物館
32	集王書大唐三蔵聖教序（宋拓）	原碑：中国・唐時代 咸亨元年（670）	京都国立博物館
33	王居士塲塔銘	原碑：中国・唐時代 顯慶3年（658）	大谷大学博物館
34	大唐西京千福寺多宝仏塔感應碑（宋拓）	原碑：中国・唐時代 天寶11年（722）	京都国立博物館
35	大唐西京千福寺多宝仏塔感應碑	原碑：中国・唐時代 天寶11年（722）	大谷大学図書館
36	張猛龍碑	原碑：中国・南北朝時代 正光3年（522）	大谷大学博物館
37	古大明寺唐鑑真和尚遺蹟碑記	原：大正時代 大正11年（1922）	大谷大学博物館
38	古大明寺唐鑑真和尚遺蹟碑記	大正時代 大正11年（1922）	大谷大学博物館
39	瑜伽師地論 卷第三十七（光明子発願一切経）	奈良時代 天平11年（739）	大谷大学博物館
40	衆事分阿毘曇論 卷第九（光覚知識経）	奈良時代 天平宝字6年（762）	大谷大学博物館
41	灯指因縁経（神護寺一切経）	平安時代（12世紀）	大谷大学博物館
42	阿毘達磨俱舍論本頌（松尾社一切経）	平安時代（12世紀）	大谷大学博物館
43	大唐西域記 卷第二（法隆寺一切経）	平安時代 大治元年（1126）	大谷大学博物館
44	華嚴十重唯識瑞鑑記 卷第一	鎌倉時代 正応5年（1292）	大谷大学博物館

【本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先】

大谷大学PR事務局（(株)アンティル内 担当：伊与田・梅谷・藤井）

TEL：06-6225-7781 FAX：06-6225-7782 MAIL：otani_pr@vectorinc.co.jp